

地方創生関連交付金等の活用状況について

資料2

1. デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ(TYPE 1)【交付対象期間：1年間】

- 【概要】 デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」の推進に向けて、デジタルを活用した、意欲ある地域による自主的な取組を応援するため国が交付する交付金。
- 【目的】 デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援する。
- 【交付率等】 事業費の1/2

交付金タイプ	「デジタル実装タイプ」TYPE 1： 他の地域等で既に確立されている優良モデル・サービスを活用した実装の取組
交付金申請事業名	デジタルサイネージを活用したバスロケーション等情報発信事業
計画期間	令和6年度から令和8年度まで

R6年度 事業概要	R6 市予算事業名
●デジタルサイネージを活用したバスロケーション等 情報発信事業 ・市の玄関口であるJR加古川駅のコンコース及び駅前 ロータリーにデジタルサイネージを設置し、公共交通 情報として、かこバス（コミュニティバス）などの運 行状況をリアルタイムに発信する。また、行政関連情 報として、観光・イベントや駅前の公共施設などの 様々な情報を効果的に発信するもの。	●デジタルサイネージ整備事業

R6年度交付決定額	R6年度実績事業費	R6年度交付実績額
9,453,000円	12,513,512円	6,256,756円

重要業績評価指標（※各指標の計画値は変更後の数値）						
指標名	区分	事業開始前 (R6年度)	計画1年目 (R6年度)	計画2年目 (R7年度)	計画3年目 (R8年度)	目標値 (R8年度)
掲載コンテンツの見直し検討回数	計画		1回	3回	4回	4回 (R8年度)
	実績		1回	—	—	
情報発信するコンテンツ件数	計画		126件	138件	150件	150件 (R8年度)
	実績		13件	—	—	
デジタルサイネージ利用者の満足度	計画		3.2ポイント	3.4ポイント	3.5ポイント	3.5ポイント (R8年度)
	実績		— (※)	—	—	
バスの利用機会の増加率	計画		3.2ポイント	3.4ポイント	3.5ポイント	3.5ポイント (R8年度)
	実績		— (※)	—	—	

※2024年10月に実装を予定していたが、JRとの設置協議やデジタルサイネージの運営保守事業者との調整に時間を要し、2025年2月の実装となったため、KPIの測定を行うことができなかった。

2. 躍動する兵庫応援事業補助金【交付対象期間：1年間】

【概要】 兵庫県において、令和5年度に創設された、県重点施策等と連動する市町施策に対する補助金。

【目的】 県と市町の間を踏まえた新たな総合的支援制度を創設し、躍動する兵庫の実現を図る。

【交付率等】 事業費の1/3（補助申請上限額5,300千円）

R6年度 事業概要	R6年度 市予算事業名
1 産業用地の創出に向けた土地区画整理事業 ・長期事業として令和5年度は、産業用地の整備を含む土地区画整理事業を検討するための市場調査を実施した。令和6年度は、令和8年度の区画整理事業の着手に向け、現況測量や土地利用履歴等の調査、土地区画整理事業の構想策定等を行う。	●志方中央土地区画整理事業
2 芸術文化の振興に向けた文化施設再整備事業 ・芸術文化の振興を目的として、文化施設や図書館、芝生広場などの一体的なリニューアルに向けた整備基本構想の策定を行う。	●総合文化センター管理運営事業
3 加古川駅周辺にぎわい創出事業 ・JR加古川駅周辺の立地特性を生かした再整備を進め、利便性と快適さを兼ね備えた賑わいと魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、再整備までの駅周辺の賑わいの維持や市民の気運を高めるために、実証実験の実施や駅前南広場のミニリノベーションを行う。	●加古川駅周辺賑わい創出事業

R6年度交付決定額	R6年度実績事業費	R6年度交付実績額
5,300,000円	32,604,000円	5,300,000円